



「環境月間特集」
 ～三井金属アクト 2020 環境取組みプラン始動～
 三井金属アクト株式会社

◆三井金属アクトの環境への取り組み

三井金属アクトは、地球環境保護、持続可能な社会の実現に貢献すべく、グループ全体での中期環境活動計画である「2020 環境取組みプラン」を設定、CO2 排出量 6%削減を1つの目標としてエネルギー使用量の把握・効率化を進めております。今回は、トヨタ自動車九州苅田工場近くにあるアクト九州工場における取組みを紹介いたします。

◆電力使用量の「診える化」

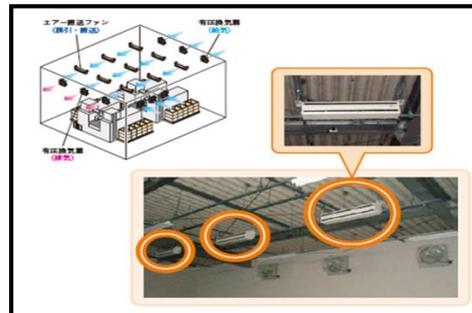
アクト九州工場では、従来から電力使用量の増加に頭を悩ませておりましたが、工場内エリア毎の電力使用量を把握する仕組みがなく、有効な対策を打ち出せない状況にありました。この状況を打破すべく、2014年8月にエリア毎の電力使用量のリアルタイム監視システムを導入し、職制・現場管理者があるべき使用量とのギャップを把握できた結果、「プレスのインバーター制御化」「無電極照明化」等の諸活動に繋がり、効率的な電力使用量の削減を実現しました。本活動・改善は他工場への展開も計画していきます。

◆熱エネルギーの再利用

同工場のプレス棟の灯油使用量が多いことへの対策として、「コンプレッサー排出熱の室内への取込」による熱エネルギーの再利用、「工場内大気還流システム導入」による暖気の室内循環を実施し、「天井の高さを活用した暖房効率向上」、「灯油使用量削減」（2013年度 36,000ℓ ⇒2014年度「ゼロ」）を実現しました。今回紹介した取り組み以外にも同工場は、“Eco Factory”を目指して、トータル Eco 活動を推進しており、今後も地球環境保護に注力してまいります。



～メーターを各所に設置～



～建屋内に設置した大気還流システム～